おわりに

しゃかい こうせいいん ひとびと し だ ばあい 「ある社会がその構成員のいくらかの人々を閉め出すような場合、それ は弱くもろい社会である」。

 $a\lambda$ こくさいしょうがいしゃとしこうどうけいかく いちぶん れきしてき これは、1979年の国際障害者年行動計画の一文です。この歴史的かだい かいけつ よねん へ いま しゃかいほしょう しゃかいふくし 課題の解決がなされないまま、30余年を経た今、社会保障・社会福祉を はじめとする制度のほころびが各方面から指摘され、「無縁社会」と称されるまでになっています。

「推進会議」と「部会」は、「障害の有無にかかわらず国民が分け隔てられることのない共生社会」の実現とそのための制度改革を目指しています。それは、とりもなおさず、「弱くもろい社会」から、誰もが排除されることなく全ての人が社会的に包摂される社会づくりに寄与するものであると確信しています。

じしん つなみ げんぱつじ こ みぞう ひがい せた と 津波、原発事故によって未曾有の被害がもたらされた東日本だいしんさい しょうがいしゃ ふく ひさいち ひと おお こんなん あた大震災は、障害者を含む被災地の人たちにきわめて大きな困難を与えひさい みなさま こころ みま もう あ ています。被災された皆様に心よりお見舞いを申し上げます。

いま にほんじゅう きょうりょく さいがい しんせい ふっこう つと 今、日本中が協力して災害からの新生・復興をすすめ、すべての人が そんちょう あんしん く しゃかい つく ほんていげん 尊重され、安心して暮らせる社会を作ろうとしています。本提言がめざきょうせいしゃかい しんせい ふっこう にほんしゃかい ふかけつ いちぶ しん す 共生社会は、この新生・復興の日本社会の不可欠の一部となると信じしょうがいしゃ く ます。障害者が暮らしやすい社会はすべての人が暮らしやすい社会でもあります。

てん せいふ ほんていげん う と しょうがいしゃそうごうふくしほう そうした 点からも、政府が本提言を受け止め、障害者総合福祉法がせいてい じっし こころ ねが 制定・実施されることを心より願うものです。